高峰マウンテンホテル

Takamine Mountain Hotel
（長野県小諸市）

今回紹介するのは高峰マウンテンホテルの風呂である。高峰マウンテンホテルはスキー場・高峰マウンテンパークに併設されたホテルである。かつてこのスキー場はアサマ 2000 パークと呼ばれており、ホテルも高峰マウンテンロッジであった。1～2 年ほど前にホテルが生まれ変わり、ゲレンデの名称も変更になったのである。

高峰マウンテンパークの最大の特徴は標高 2000m の高さを生かしたパウダースノーである。取材班が訪れた 3 月中旬ですら、ハイシーズンのパウダースノーのままであった。その反面、気象の厳しさでは指折りである。特に、風が強く、気温は低い。

もともと高峰マウンテンロッジは庶民的なスキーロッジであったが、生まれ変わった高峰マウンテンホテルは見るからに高級路線である。贅沢にスキーを楽しみたい人は是非お勧めだ。

前置きが長くなったが、高峰マウンテンホテルの風呂を紹介する。風呂は最上階である 3 階にある。脱衣室は広く、脱いだものを入れる棚が 24 個、脱いだものを入れる籠が 16 個、ダイヤル式の鍵が備わっている貴重品ロッカーが 20 個、洗面台が 5 個、無料で使えるドライヤーが 4 個ある。

浴室はシンプルに洗い場、浴槽のみがある。洗い場は 7 個あり、シャンプー、コンディショナー、ボディーソープが具備されている。浴槽は適温で、最大 15 人は入れる広さだ。内装は高級そうな石貼、タイル貼である。

露天風呂もある。定員 8 人程度で、外気に面している。冬は恐ろしく寒い。高峰マウンテンホテルの

HP によれば、「水の塔山や東篭ノ登山を望み」とあるが、夜は暗闇である。湯温はややぬるめであった。

取材班はあるスキー大会に参加するために高峰マウンテンホテルにやってきたのであるが、大会の開催場所としても高峰マウンテンホテルは素晴らしい。風呂だけでなく、食事、客室、すべてがラグジュアリーである。スポーツの疲れが癒される。

標高 2000m でこれほどの設備、日本中を探しても見つからないであろう。

DATA

名称	高峰マウンテンホテル
所在地	長野県小諸市高峰高原
電話	0267-23-1712
営業時間	15：00～24：00、6：00～9：00
定休日	なし
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2024 年 3 月 8 日～10 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	高峰マウンテンパーク